

**2018新年
メッセージ**

福音をたずさえ世にいのちと平和を

<ヨハネによる福音書20:21～22>

総会長 **金 鐘 賢** (浪速教会)



2018年は、私たち^{在日大韓基督教会}が宣教110周年を迎える年です。100周年記念大会を行ってからすでに10年の歳月が流れました。宣教110周年を迎えるこの時、改めて^{在日大韓基督教会}は進むべき方向を確立し、力を合わせて新しい未来に向かって進む必要があります。私たちが^{在日大韓基督教会}の信仰の先輩たちは、日帝時代と戦後の過酷な時代に教会を建て、祈り、伝道に励み、今の教会を私たちに譲ってくださいました。今、私たちは再び福音に立ち返り、信仰に堅く立って、世に向かって福音を伝える伝道の使命を回復する時であると思います。

イエスが暗闇の力、死の力に打ち勝ち復活された後、恐怖で震えている弟子たちにお与えになった御言葉は、「あなたがたに平安があるように。」でした。また、主は息を吹きかけて、「聖霊を受けなさい。」と言われました。真の平安と聖霊の恵みを注いでくださった後、主が与えられた命令は、「父がわたしを世にお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。世に出て行きなさい。」という御言葉です。教会の頭であるイエスは、今も救われた私たちに向かって、世に出て行くように命じられています。

1. 福音を伝えなさい

私たちは福音をたずさえ世に出て行くように命じられています。イエスの贖いの福音を伝える時、主を知らない者は信じ、罪が赦され永遠の命を得ます。福音には魂を救う力と知恵があります。福音を伝える時、世の人々は耳を傾け、聞いた者は信じるようになります。信じる時に罪の赦しと救いの恵みを経験し、救いの喜びと天国の希望を抱き、主のために献身し福音を伝えるようになります。主は教会に向かって信徒一人一人が救いの喜びと聖霊に満たされ、福音を伝える主の弟子となるように願っています。

2. 和解の福音を伝えなさい

今、この世界と万物は呻き、その痛みから救ってくれる神の子たちが現れるのを願っています。なぜなら、罪から解放された感激と喜びがある神の子だけが、神の愛を抱いて暗闇の勢力に押しつぶされ苦しむ世界と被造物を、天の力と権威によって自由にすることができるからです。

今日の教会の現実、福音的な教会と社会宣教をする教会に

分かれています。しかし、主の体である教会は福音伝道と共に悪と闇の勢力に対して正義を叫び、抑圧されている者を自由にする社会宣教を同時に行う必要があります。救いの福音を伝えるか社会宣教をするか、私たちは皆イエスを救い主として信じる信仰に堅く立ち、仕える必要があります。私たちの教会は、和解の福音をたずさえ世に出て行く必要があります。

イエスは十字架を通して、神と世、神と人間、人間と人間の間になされている隔ての壁を取り壊し、和解を実現されました。(エペ2:14) 神は、今も私たちが世の平和の使者として送られます。私たちがどのように世に平和の福音を伝えることができるでしょうか?イエスが世の罪を取り除く十字架を負われたように、私たちがキリストに倣って十字架を背負い世に降りて行かなければいけません。

この世を愛する心で、この世に神の国が来るように、世に向かって和解の福音を伝えることが求められています。私たちが^{在日大韓基督教会}は、日本が排他主義や歴史修正主義に基づいて、弱者と少数者を差別し抑圧する現実に抵抗し、正義を叫ばなければなりません。マイノリティ宣教センターを中心に抑圧され差別を受けている者の声を聞き、彼らが自由と和解を享受するために共に働きましょう。世界平和を脅かし、命を殺す戦争を再び行おうとする日本の民族主義、帝国主義勢力と戦って、戦争のない平和を成す働きに積極的に参加して下さるよう願います。

イエスは神と人間、人間と人間を妨げる隔ての壁を十字架によって取り壊し、一つにされました。今、朝鮮半島は分断の歴史が続いています。一つの民族が二つに分かれ、互いに憎み敵対しています。北朝鮮の度重なるミサイル発射によって、戦争の危機感が高まっています。私たちが^{在日大韓基督教会}は、南北の平和統一のために祈り、対話の扉を開く橋渡しの働きをさせて頂きたいと思います。私たちは敵を愛し、敵対する者たちをもてなし、許し、祝福し祈り、主の正義を叫び伝えて行くように主から求められています。その時には、私たちが伝える和解の福音を通し、世のすべての人々が悪を捨て、正義と平和によって治める神の統治と主権に従うようになります。

2018年の新年には、^{在日大韓基督教会}に連なる全ての教会が世に出ていき、伝道に励む一年となるように願います。伝道する時、聖霊が働かれ、主が豊かな実を与えられます。涙を流し、汗を流し、種を撒く者は喜びをもって実を刈り取ると信じます。

特別養護老人ホーム苑長職1名募集 介護職員、生活相談員、介護支援専門員 若干名募集

募集者: 社会福祉法人 永信会

勤務地: 1. 特別養護老人ホーム永生苑
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-39-11
2. 特別養護老人ホーム永生苑豊橋
〒440-0081 愛知県豊橋市大村町字花次83
(採用決定時1、2のいずれかに配属)

入社日: 2018年4月1日

事業内容: 特養、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援

募集対象: 苑長職45～55歳、他職種18～40歳

待遇: 給与 要相談 (原則として、学歴・職歴に基づく)
社会保険、雇用保険、共済会退職積立金等 完備

提出書類: 履歴書1通。保持している資格証明書の写し。
「介護福祉について」自筆レポート。(ワープロ不可)
(1200字程度、400字詰原稿用紙×3枚以内)

書類提出先: 社会福祉法人 永信会

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-39-11

選考方法: 提出書類と面接により採用決定者は後日通知

提出期限: 1月31日郵送にて必着

その他: キリスト教精神に基づく社会福祉。永信会の基本理念は「福音を述べ伝え、隣人に仕える教会」とあり、これを理解し、介護福祉事業の為に自身の知識と経験を生かして、更なる施設の充実と運営に尽力できる人材を求める。

問い合わせ: 永信会本部 ☎052-541-3793
又は、副理事長 金勝正
h/TEL 090-1545-1307



新年
抱負

主の掟を守ること

関東地方会長 張慶泰牧師



私たち関東地方会は、過去数年の間に大きな混乱と渦の中にいました。本当に多くの教会が厳しい時を送りましたが、その状況の中でも耐えることができる恵みを与えられた主を賛美します。地方会に仕えながら、最初に私の心の中に入ってきた御言葉があります。

「わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」(ヨハネ14:21)

律法と恵み、私たちはいつも恵みだけを強調してきました。しかし、その恵みが律法に基づいていたという事実を私たちは見過ごしてしまう時があります。掟と愛、この二つは不釣り合いのような気もしますが、イエス様は「私の掟を守ることが、わたしを愛すること」だとはっきりと語っています。イエス様を愛しているなら、掟を守ることです。言葉だけで主を愛します！ではなく、主を愛する行動が必要です。それが掟を守ることです。この掟を守ることが、すなわち神の教会を守ることであり、その中で私たちは神の愛を受け、掟を守りながらイエス様が私を通して働かれるという事実です。

2018年度には、掟を守ることによって総会と地方会、各教会が、初代教会のように、「神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」(使徒2:47) この御言葉が臨むことを切に願います。

新年
抱負

一つになって充実な地方会

中部地方会長 崔和植牧師



中部地方会は去る一年を振り返りますと、神の恵みでありました。皆様の祈りと支援によって岐阜教会の教会堂の建築が始まり、今年の春に完工の予定で誠に嬉しいです。また、豊田恵み伝道所の李珍容牧師の加入式と委任式を執り行い、中部地方会の一員として協力してくださっています。そしてまた、傷を克服しようとする教会と厳しい環境で福音の種蒔きをしている教会の身もだえもあります。いたるところで福音の使命を果たそうとしている諸教会もあります。

したがって、今年は地方会の中にあるマイノリティに関心をもち、励もうと思います。一層地方会が一つになるために努めようと思います。牧会者の痛みや辛さを聞き、互いに交わる牧会者、慰める牧師者、そのような地方会になるように祈りつつ進みたいと思います。そしてfacebookを通して地方会の便りを発信しながら、同時に各教会のホームページをリンクしてオンラインでも交わろうと思います。対外的には日本基督教団、日本キリスト教会と共に協力し宣教方向を模索しようと思います。そうして、内実と外室に充実する地方会に変革しようと思っています。さらに総会と諸傘下の教会、機関の上に神の恵みにあってリバイバルになりますよう望んでおります。

新年
抱負

神さまに喜ばれる地方会になて行く

関西地方会長 朴成均牧師



2018年は、コロナ信託への手紙3章23節の言葉を深く黙想しながら始めたいと思います。

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい」この言葉が、家庭、教会、職場、社会の中で、豊かに実現されることを願います。

新年も、さらに神さまに喜ばれる関西地方会になっていくことを願い、三つの思いを綴ってみます。

- 1) さらに、魂の救いに関心を持つ地方会(ルカ15:6節)
教会は、数によるものではありませんが、失われている羊を今も探し続けておられる神様の心を抱き、魂の救いに力を尽くしていきたいです。
- 2) 万事が益となるように共に働く地方会(ローマ書8:28節)
地方会行事が、さらに喜び、感謝、恵み満ちあふれるように励みたいと思います。
- 3) 愛と正義の実が豊かに実現する地方会(1ペトロ4:8節、アモス書5:24節)
総会の憲法、規則、地方会の規則を重視し、愛と正義がバランスよく機能できる地方会となるようにさらに努力していきたいです。

新年
抱負謙虚な思いを持って仕える
姿勢を持って

西部地方会長 韓世一牧師



西部地方会は現在、13ヶ所の教会と2ヶ所の伝道所で構成されている小規模な地方会です。しかし、各教会が、心から家族のようにそれぞれの教会を大切にしている地方会です。新しい2018年にもこのような思いを忘れることなく、西部地方会の任員と任職員たちと一緒に働くことを心から望んでいます。

私たち西部地方会は、現在、日本基督教団兵庫教区と日韓交流信徒大会(35回)を通じて、韓国と日本の壁をさらに低くしようと努力しています。さらに、在日の青年達と日本基督教団青年達が一緒に主の前で深い交わり、互いが理解できる機会を設けようと計画しています。今後も信徒たちの声に耳を傾け、謙虚な思いを持って仕える姿勢を持って、神様と教会、また西部地方会のために働きたいと願っております。

皆さんの教会の上に主の導きを与えられますようにお祈り致します。

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 呉永錫(東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店:東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

新年
抱負信徒指導者を立てることと
教役者再教育を

西南地方会長 李恵蘭牧師



1. 西南地方会は現在、大きな変化の時期を迎えています。この1～2年の間、担任牧師を新しく迎えられた教会が半分以上あります。したがって新しい変化や、リバイバルが出来たことと期待し、感謝しています。一方、一致という課題もあります。地方会の全教会が主の愛に一つにつながるように願っております。
2. 信徒の交わりが教会のリバイバルを起こさせると思います。信徒リーダーを育成する方針の摸索を続けるように願っております。
3. 牧師が生き生きすれば、教会が活性化します。牧師の自己検証によって霊、精神、体が健康的であるように、また、牧師の休息と再教育の為にも信徒の理解と協力が得られるよう願っております。
4. 地方会の各部の活動が活性化するように研究と協力を願っております。そして、聖霊の導きと智慧を願います。

新年
抱負主にあってひとつになる
連帯意識と和解

全国教会女性連合会 会長 李炫知勸士



主の恵みの中で、昨年6月に第61回全国教会女性連合会定期大会を無事に終えることができました。新しい委員が選任され、5地方会女性会の皆様と共に総会110周年、2019年全国女性会創立70周年に向けて歩む一歩となったことを主に感謝します。

今日まで全国女性会は祈りと献身をもって教会での役目を担ってきました。同時に、社会から疎外されている者の代弁者として社会に向けて問題発信をまいりました。また全国女性会自らも第59回定期大会時、機構改革と憲章改正をし、新しい世代に向かう出発点となりました。

果敢な改革は、新たな問題点を生じさせる事もありましたが、その度に聖書に基づいた解決を目指してきました。特に昨年は世界的緊張と戦争への挑発に悩まされ、国内ではヘイトスピーチに悲しみを覚え、信仰者としての姿勢が問われました。

総会110年の歴史は、常に弱者のために仕え共に祈り苦難を乗り越えてきた歴史であります。神様はその時代にあったミッションを与え、そして乗り越える力と知恵も与えてくださる事を私たちは在日大韓基督教会の信仰の先輩たちを通して学びました。私たちも後世につながる信仰者として、使命を全うすることが出来るように祈らずにはられません。連帯の大切さを悟り、和解と平和の通路として与えられた使命を全うすることができますように祈ります。

その時代に必要なクリスチャンになることを忘れず、使命感をもって一步一步確実に前進したいと思います。

今年は総会110周年を迎える意味ある年です。主において同じ思いを抱き、連帯し、今年こそ和解ができる一年と成りますように切に願います。

新年
抱負110周年から始まる未来を抱き
福音の使命を回復しましょう

全国長老会 会長 呉永錫長老



今年はこの地においてKCCJの貴重な歩みが許されて110周年を迎えます。改めてここまで守られ、導かれた素晴らしい恵みに感謝致します。並びにその間においてマイノリティー宣教の大きな実を成し得るよう導いた慈しみの主を讃美します。

昨今は聖書的な終末を想起せざるをえないように世界的に政治と経済の混乱が続き、また様々な環境問題や大型の自然災害が繰り返されています。ゆえに、我がKCCJは全うな愛を回復し110年間も守ってくださった恵みによってなお福音の使命を回復しなければなりません。

まずは先に送られてきたディアスポラとして強く大胆な信仰の礎をより堅めなければなりません。一人の命を救う働きの重要性を共有し、日々の祈りを怠ることなく続けなければいけません。そのためにまず、与えられた責務を肝に銘じ、福音の使役に従事して参りたいと思います。何より心が痛み、主の御前で頭が下がる東京教会の回復のために祈りつつ、法と秩序に立ち帰り恵みを取り戻すことが出来るように努めます。次は、総会に属する5つの地方会の連携と共同使役を支えるに足る長老会になるよう努めます。これには先輩長老たちの苦勞と業績が後輩長老に正しく受継がれるように、全国長老会のネットワークの活性化に力を尽くし、それによって長老会が地方会と総会の確かな柱となりうるように協力し、奉仕して参ります。

長老会の活発な交流と交わりが、総会と地方会の潤滑油になることを確信します。全ての家庭と教会の上にいと高き主の愛がみちることを祈り新年の挨拶とさせていただきます。

新年
抱負新たな出会いを求めて
西部や西南とも交流深める

青年会全国協議会 代表 呉眞雅



アンニョンハシムニカ。青年会全国協議会代表の呉眞雅です。

青年の教会離れが懸念される中で、修養会で新たな出会いがあるたびに、なんとも言えない嬉しさが込み上げてきます。

修養会には関東、中部、関西の青年が多く集まっていますが、今年度は西部地方や西南地方の青年とも関わりを持ち、全国の青年が集う場で、さらに多くの関わりを深めていきたいと思っています。

また、いろんな立場におられる方々と話をし、それから学んだ事を深く考え、全国の青年と共有していけたらと感じます。

いつも全協を応援し、ご協力してくださる信徒の方々の思いのおかげで、私たちの気持ちも活動も成り立っています。

2018年もよろしくお願い致します。

大阪第一民宿[OSAKA STAY]

代表:鄭洪権長老/安姫子勸士(大阪教会)

大阪市生野区中川西3-9-6(大阪教会近く)

Tel 06-6777-7033/携帯090-8538-4433

Kakao ID : ntpp0033

Email:osakastay@dune.ocn.ne.jp

http://www.osaka-stay.net

大阪市指令許可書11549号

関西地方会

サンクスフェスティバル開催 大阪教会に15教会から150名余が参加

2017年10月15日、大阪教会で、関西地方会女性部・壮年部・青年部3部合同主催の「第8回サンクスフェスティバル」が開催された。

第1部礼拝は青年部が担当し、説教は宋南鉉牧師（大阪第一教会）が行った。

第2部は講演会が行われ、水村光義牧師（日本伝道隊・津田キリスト教会）を招いて講演して頂いた。

第3部の公演では姜隆光執事（大阪教会・テレマンアンサンブル楽団ピアノ主席奏者）らのヴァイオリンデュオの調べを鑑賞した。今年度は15教会150名の出席があり、盛大で有意義な時間を持つ事ができた。

（壮年部 尹聖澤）



小グループリーダーセミナー UMCから4名の講師が来日し、開催

去る2017年10月30日から3日間、昨年の関東地域に続き関西地域にもアメリカ合同メソジスト教会（UMC）韓人牧会強和協議会の主催で、小グループリーダーセミナーが、大阪北部教会（趙永哲牧師）において開催された。サンディエゴ韓人メソジスト教会の李成鉉牧師、コンコードメソジスト教会の李成鎬牧師、ワシントン韓人メソジスト教会の金翰成牧師、そして世界宣教部韓人牧会強和協議会の事務総長である張學淳牧師など4名の講師を通して現在UMCの中で行われている小グループについての理論と実践を共に学ぶ有益な時間となった。

セミナーに参加した一人の参加者は、「今まで様々なセミナーに参加してきたが、今回のように有益な集いは初めてだった。そして、他の牧会者の参加を積極的に推薦するだけでなく、次回は信徒たちと共に参加したい」と感想を語った。

そして、UMCは昨年の関東の小グループセミナーと同様に、すべての参加者の食事代、交通費など諸費用を負担した。また、大阪北部教会の女性会が三日間食事の奉仕を行った。今回、小グループリーダーセミナーを主催して下さったアメリカ合同メソジスト教会（UMC）韓人牧会強和協議会に心から感謝し、



今後私たちが在日大韓基督教会とUMC間の良い関係が続くことを願う。最後に、今回の小グループリーダーセミナーに参加されたすべての方々が、牧会の現場で今回の学びを生かされるよう期待する。（報告：趙永哲牧師）

韓・在日・日NCC女性委員会 連帯交流会議開催

「和解の道のり、私たちはどこに？」テーマに

第10回韓・在日・日NCC女性委員会連帯交流会議が2017年11月28日(火)～30日(木)まで韓国ソウルにある韓国キリスト教会館で行われ、KCCJ女性会から6名が参席した。この連帯交流会議は1996年6月25日に第一回をスタートさせ、長きにわたりキリスト教女性たちが連帯と交流を続けている。これまで両国の和解と平和、さらに北東アジアの平和と安保のために共同の宣教課題を設定し実践してきた。

第10回連帯交流会議は「和解の道のり、私たちはどこに？」というテーマで総勢約30名が集まり、開会礼拝を持って始まり聖餐式も行われた。その後、歓迎のための良き交わりの時を持った。二日目は主題講演と日本の現場報告が行われ、日本側は慰安婦問題について、在日側はヘイトスピーチについて報告した。午後からは定期水曜デモに参加し、戦争と女性の人権博物館を観覧した。三日目は金必順牧師による「ミカルと在日・女性」というタイトルで聖書研究が行われた。そして総合討論の中で共同宣言文を作成した。閉会礼拝では石橋真理恵総務が「イエス・キリストに結ばれて」というタイトルで説教した。今回の二泊三日の交流会議の中で、和解と癒しの道のりの中に私たちがいること、そして韓・在・日のキリスト教女性たちの交流が続いていることを感謝し、私たちにどんな役割があるのか、何をしなければいけないのかを再確認する交流会議となった。

（報告：石橋真理恵）



尹宗銀牧師（横浜教会）召天 戦後の混乱期に在日宣教に尽力



去る2017年12月12日、元総会長の尹宗銀牧師が天に召され、神戸教会において葬儀が行われた。（享年90歳）

故・尹宗銀牧師は1927年韓国で生まれ、来日した後、関西学院大学神学部、同大学院、米国ニューヨークユニオン神学大学院などを卒業し（神学博士）、1958年に牧師接手を受け、広島教会・西宮教会・堺教会・横浜教会を牧会された。また、関西地方会長、関東

地方会長及び、第35回総会長などを歴任された。

在日一世として険しい時代に、良き牧会者と神学者また指導者としてのリーダーシップをもって、在日大韓基督教会に仕えられた生涯であった。

著書と翻訳書として「使徒的説教とその展開」、「神の栄光のみ」、「新約聖書概論」などがあり、遺家族に尹聖哲長老(神戸教会)、尹聖澤長老(大阪北部教会)がいる。

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様～200名様のお会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャング・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月～2年、短期研修)

関西◆にほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャング)

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064

東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025

大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600

※朝食¥200(宿泊者価格)